

# 第26回沖縄県ヨネックス杯中学校バドミントン選手権大会

## 【競技上の注意】

- (1) 予選リーグ→決勝トーナメント方式で行う。
- (2) 2複1単とし、複1・単・複2を予選から決勝まで全試合を並行試合で行う。  
同一選手が単と複を兼ねることはできない。
- (3) チーム編成は、1チーム選手5～7名・監督・コーチ・マネージャーの10名までとする。  
ただし、マネージャー及び、コーチのベンチ入りはどちらか片方とし、ベンチ入りの合計は9名までとする。また、コーチは教員又は県中体連の登録者(外部指導者)とする。
- (4) 得点は全試合15点3ゲームマッチで行う。(上限21点)
- (5) 試合時間確保のため開会式は行わない。
- (6) ~~オーダー提出を、試合開始15分前とする。~~各コートでオーダー交換後本部に報告する
- (7) 予選リーグは必ず第2ダブルスまで行い、決勝トーナメントからは2本先取で打ちきりとするが、消化試合になったマッチはゲーム途中であればそのゲーム終了まで行うことができる。  
(但し、両監督の了承のもととする)
- (8) 連続試合は15分以上の間隔を空ける(ゲーム終了時点から15分以上)。
- (9) 主審及び線審は予選は同ブロックの試合のないチームが行うこととする。決勝トーナメントは敗者審判とする。審判用紙は本部から各コートへ届けるため、敗者は自分が試合をしたコートで待機する。
- (10) 得点係は各対戦チームから各1名ずつ出すこと。
- (11) インターバルは、~~ゲーム中は10点で1分、~~ゲーム間の2分以内とし、ファイナルゲームの時は、~~11~~8点でチェンジエンスを行い、1分以内とする。
- (12) 監督、コーチまたはマネージャーのコーチングシートを設ける。チェンジエンスの際、監督、コーチまたはマネージャーも移動すること。
- (13) ゲーム中の監督、コーチのアドバイスをラリー中でなければ認める。ただし、試合の遅延行為にならないようにする。また、相手選手が萎縮するようなアドバイスは禁止する。  
選手はアドバイスすることができない。
- (14) インターバル時に、アドバイスを受けることができる。ただし、チェンジエンド時のアドバイスは移動してから受ける。
- (15) 試合コール後、3分以内にコートに入らない場合は、棄権とみなすこともある。
- (16) 試合中の汗拭きは、原則としてインターバル時しか認めない。
- (17) 水分補給も、原則としてインターバル時しか認めない。スクイズボトルを使用すること
- (18) 選手の試合観戦は2階各地区控え席観覧席とする。(移動しての観戦は行わない)
- (19) 大会使用ウェアは、日本バドミントン協会審査合格品(ハーフパンツ使用の場合は膝にかからないもの)とする。
- (20) スパッツは下衣からはみ出さないように着けること。
- (21) ゼッケンの無い者は没収試合とすることもある。尚、紙のゼッケンは認めない。
- (22) はちまき、ヘアバンド、リストバンド、サポーター、テーピングは認めるが、プレスレット・ネックレス等の装飾品(スポーツ用品等も含む)及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。
- (23) 中学生としてふさわしくない身なり(まゆ等)・服装及び、行為をしたものは、協議の上没収試合とすることもある。

## 【注意事項】

- (1) 事故防止及び試合進行をスムーズに行うため、フロアー及び通路、玄関ロビー、空コートでの練習は認めない。
- (2) 体育館シューズで外に出ないこと。
- (3) 昼食時間は設けないので、各自試合の進行をみながら取ること。
- (4) ゴミは持ち帰ること。なお、ゴミ袋は本部でも準備します。
- (5) 応援席での飲み物、食べ物の片付けを徹底すること。(こぼしたものの拭き取りなど)
- (6) 貴重品やラケット等のバドミントン用品の管理は各学校及び各自で徹底してください。

## 【シードについて】

- (1) 各地区新人大会の団体戦の結果を中心に考慮してシードする。